



## コーポレート・ガバナンス

## | 社外取締役・社外監査役

当社の社外取締役および社外監査役は、当社が定める「独立社外取締役および独立社外監査役に関する基準」にもとづく要件を満たしています。

当社は、取締役14名のうち2名を社外取締役とし、ほかの事業会社の経営者としての豊富な経験にもとづく幅広い知見から、独立した立場で当社の経営を監督し、適切な助言・提言をいただくことで、経営の妥当性・適法性を確保し、取締役会における経営の意思決定機能の強化を図っています。

## 社外取締役に求める役割

- 取締役会の重要な意思決定に参画するとともに、そのプロセスを監督すること
- 取締役会の決議事項・報告事項について、自らの豊富な経験にもとづく幅広い知見を活かし、適切な助言・提言を行うこと
- 独立した視点から、株主共同の利益向上のために、経営を監督すること

また、監査役4名のうち3名を社外監査役とし、金融実務経験者、経営学を専門とする学識経験者、弁護士としての豊富な経験と実績にもとづく幅広い知見から、独立した立場で当社の業務執行の適切な監査を通じて、コンプライアンス遵守の継続および経営の健全性・透明性の向上を図っています。

前述の通り、取締役・監査役合計18名のうち5名(約28%)を社外役員とし、経営監視の客観性と公正性を高めています。

取締役会に関しては、社外取締役や社外監査役には、事前に付議案件の資料を送付して、必要に応じて説明し、特に社外取締役については、取締役会に先立ち、議案の事前説明会を開催しています。さらに、社外取締役は、監査役とも積極的に交流し情報共有しているため、毎回活発な議論が行われています。

2018年3月期は監査役会を15回開催するとともに、毎月、内部監査部とミーティングを行い、情報交換・情報共有を図っています。

## 社外取締役・社外監査役の取締役会・監査役会出席状況

社外取締役	取締役会出席状況 (全18回)	社外監査役	取締役会出席状況 (全18回)	監査役会出席状況 (全15回)
和田 彰	18回 100%	川原 廣治	18回 100%	15回 100%
津田 登	18回 100%	加護野 忠男	18回 100%	15回 100%
		川上 良	18回 100%	15回 100%

## | コーポレートガバナンス・コードへの対応

当社は、コーポレートガバナンス・コードの趣旨も踏まえて、コーポレート・ガバナンスの強化に積極的に取り組んでいます。当社は、2018年6月1日改訂前のコーポレートガバナンス・コードの各原則についてすべてを実施しています。なお、当社を取り巻く環境の変化も踏まえて、今後も継続的にコーポレート・ガバナンス強化に取り組んでいきます。

「独立社外取締役および独立社外監査役に関する基準」や「コーポレート・ガバナンス報告書」はWEBサイトをご参照ください。  
<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/governance/structure.html>

## | 開かれた株主総会

当社は、株主の皆さまが株主総会に参加しやすいよう工夫するなど、議決権行使を円滑にするさまざまな施策を実行しています。

## 株主総会招集ご通知の早期発送

法定期限の「開催日の2週間前」より7日早い3週間前に発送しています。

## 株主総会招集ご通知などをWEBサイトに掲載

株主総会招集ご通知については、株主総会開催日のおよそ1ヵ月前にWEBサイトに掲載するなど、早期情報開示に努めています。あわせて招集ご通知の英訳(要約)も掲載しており、外国人株主の皆さまの利便性向上も図っています。

## 株主総会招集ご通知などの工夫

株主の皆さまのご理解の一助となるよう、役員選任議案に役員候補者の一覧表や顔写真、取締役会への出席率などを掲載しています。

## 株主総会の開催日・開催場所の配慮

より多くの株主さまにご出席いただけるように、いわゆ

る「集中日」を回避し、決算・監査日程との関係などを考慮して開催日を決定しています。また、2018年から開催場所を本社ビルから外部会場に変更し、アクセス、設備などの面で、株主さまの利便性向上を図っています。

## インターネットによる議決権行使

議決権の事前行使は、郵送に加え、インターネットでも受け付けています。また、機関投資家の皆さま向けに、(株)ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームにも参加しています。

## その他

株主総会では、事業報告や決算内容の一部をグラフや写真などを用いながらスクリーンに表示し、議長の説明を補完しています。

## 第119期定時株主総会(2018年6月26日開催)

ご来場株主数 **213**名 議決権行使率 **82.6**%

## | 情報開示方針

当社は、情報開示方針を定め、金融商品取引法などの諸法令ならびに、(株)東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」を遵守するとともに「コーポレートガバナンス・コード」を尊重し、「フェア・ディスクロージャー・ルール」に沿って情報開示を行っています。

また、法令や規則に該当しない情報であっても、投資家の皆さまにとって有用であると判断した情報については、積極かつ公平な開示に努めています。

「情報開示方針」はWEBサイトをご参照ください。  
<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/disclosure.html>

## | 社外からの評価

当社は、株式市場において、ESGに積極的に取り組む企業として評価され、複数のSRI(社会的責任投資)ファンドやSRIインデックスなどに組み入れられています。



\*1 2018年6月末時点の組み入れ状況  
 \*2 NTN株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるNTN株式会社の後援、推薦、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

それぞれのインデックスの詳細はWEBサイトをご参照ください。  
<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/sc/investor.html>